

全 員 協 議 会 会 議 録

開催日時	令和元年 9 月 6 日（金） 15 時 15 分 ～ 16 時 31 分
場 所	第 3 常任委員会室
協議事項	令和元年度第 3 回全員協議会 「宜野湾市国民健康保険税の見直し（案）」の説明について
出席議員 （欠席議員）	24 名（欠席議員：伊佐哲雄議員、伊佐文貴議員）
当局出席者	市長、副市長、健康推進部長、健康推進部次長、国民健康保険課長、 健康増進課長
議会事務局 出席者	東川上局長、大城担当主査、棚原主任主事
会議概要	<p>○上地安之 議長 本日、9 月議会が開会したが、当局から 2 日目の質疑の前に 全員協議会にて説明いたしたい旨の要請があり、本日全員協議会を開催すること となった。</p> <p>○松川正則 市長 厳しい財政状況の中、23 年ぶりに国保税を改定することと なった。議員にも丁寧に説明してまいりたい。</p> <p>≪健康推進部次長、国民健康保険税の趣旨、方針について説明を行う。≫ ≪健康保険課長、見直しの内容について説明を行う。≫</p> <p>○桃原功 議員 国からの補助はないのか伺いたい。</p> <p>○国民健康保険課長 沖縄県においては、全国と比較し、前期高齢者交付金制 度の対象となる 65～74 歳の割合が低いため、毎年、沖縄県、市長会、町村会、 市議会議長会、町村議長会、国保連合会の県内 6 団体が国へ要請を行っている。</p> <p>○岸本一徳 議員 広域化に伴って国保税に係る歳入が県を通じて交付される こととなるが、配分等については確認できるのか。</p> <p>○国民健康保険課長 平成 30 年度から広域化に伴い、財政の流れが変わったた め広域化前との比較は難しくなっている。</p> <p>○岸本一徳 議員 平成 29 年度と平成 30 年度を比較した場合、改善されてい るか確認することはできないか。</p> <p>○国民健康保険課長 歳入が減少したのは共同事業がなくなったため、現在は 100 億円程度の規模になっている。国庫支出金は、広域化に伴い、平成 30 年 度以降は県に入ることとなり、不透明な部分はあるが、前年度の決算と比較</p>

すると、2億6,000万円程度は改善している。

- 玉城健一郎 議員 資料の別紙2の2頁に記載されている1人当たり約6,000円増額案について、1人世帯で950万円以上の所得階級に区分される方は税額がゼロとなっている理由を伺いたい。また、別紙4の1頁に記載されている単年度支出額は117億円であるが、2頁では116億円と記載されている理由について伺いたい。さらに、1頁の現行のグラフに法定外繰入金を含めていない理由についても伺いたい。
- 国民健康保険課長 1点目の質疑については、限度額に達しているため増額がないことが理由である。2点目の質疑については、医療費の抑制を考慮に含めているためである。
- 玉城健一郎 議員 現行制度と改定案の比較を行うのであれば、同じ数値を使用すべきではないか。
- 国民健康保険課長 今後、取り組みの強化に取り組む分があるため、それを見込んだ数値である。
- 玉城健一郎 議員 3点目の質疑への答弁をいただきたい。
- 国民健康保険課長 今年度はまだ法定外繰り入れが含まれていないためである。
- 玉城健一郎 議員 改定案にのみ将来の改善予想額や法定外繰り入れを含めているが、比較にならないのではないか。
- 健康推進部長 御指摘を踏まえ、今後さらに精度の高いシミュレーションの作成に努めてまいりたい。
- 又吉亮 議員 令和6年度までのシミュレーションが示されているが、累積赤字額は約21.9億円となっている。赤字の解消はどのように進めていくのか。
- 国民健康保険課長 県は、令和6年をめどに保険税の統一を目指しており、それまでに赤字の解消に努めてまいりたいが、現在のシミュレーションではこのような状況であると理解いただきたい。

以上